

スマホやタブレットをはじめとしたモバイル機器周辺で、面白いサービスがある。昨年5月に誕生したモバイル保険は、モバイル機器の修理費用を保証するサービス。

昨年5月にリリースした『モバイル保険』は、モバイル機器の修理代を月々700円で保証するサービスだ。カバー範囲は1年で10万円以内、スマホやタブレットなどWi-Fi、Bluetoothに接続する機器全てが対象。

スマホなどの端末価格が年々上がり、高まっているのが修理ニーズ。多少の不具合なら新品に買い換えるより、修理して使いたいという声が増えてきているようだ。そこに着目したのがさくら少額短期保険(東京都豊島区)。

特徴は物ではなく、人に付随した保険であること。モバイル保険では1人あたり、主機器1台と副機器2台の計3台を登録できる。機種変更をしても引き続き補償契約は続く仕組みだ。「現代では1人あ



キャッシュレスリペアでは「モバイル保険証」を提示するだけで、現金なしで修理してもらえる

謎 その25 『モバイル保険』ってなに!?

スマホ修理を保険でカバー



小松義彦社長

たり3台以上モバイル機器を持っており、今後5〜6台まで増えるというデータもあります。そのため1台1台に保険契約するというのは、現実的ではない。より現代ニーズに沿うように、このような画期的な思考を取り入れました」



年内には契約数が10万件をこえる予定のモバイル保険

(小松義彦社長)

ユーザーは修理後、書類などを提出するとキャッシュバックされる仕組み。契約数は現在およそ3万件以上、年内に10万件をこえる見通しで好調だ。

「端末価格は上がっている中で、手持ちの端末を大切に長く使いたいといったニーズが増えてきている。MVNOや中古など、モバイル機器も様々な選択肢が増えてきた。その中でも故障時のリスクをカバーできる保険が必要だ」

現金ナシで修理も可能

小松社長は、「モバイル機器の健康保険もつくりたい」と話す。その世界観に近づく新たな仕組みが、6月に始まった『キャッシュレスリペア』だ。提携修理店(リペアパートナー

1) 店舗であれば、直接現金を支払うことなく修理可能なのだ。

ユーザーはマイページから予約後、店頭で『モバイル保険証』を提示するだけで手続きは完了。ニーズの高いiPhoneの画面修理を皮切りに、今後修理内容や対応機種も拡充していく。

リペアパートナーは原則総務省の登録修理事業者か、メーカー正規修理店に限定しており、現在29店舗が登録している。「マイページから最寄りの店舗を検索する機能や、口コミを登録できる機能など送客にも繋がられる。パートナーを拡充したい」

リペアパートナーに加わるのは無料。「モバイル修理事業者が、これからは選別される時代になる。接客だったり、サービスだったり、信頼性だったり。キャッシュレスリペアのような利便性の高いサービスが差別化のひもとつになると思います」